

電信通住民の食支援

帯広市内の電信通商店街周辺の地域住民をターゲットにした飲食店「惣菜ごはん屋でんしん」が13日、東2南6の空き店舗1階にオープンする。地場産の豆や野菜を使った料理と日本酒などを提供する居酒屋として営業を開始。9月中旬からは昼の弁当や総菜の販売に加え、弁当の宅配サービスも始め、買い物に行けないなどの問題を抱える高齢者の暮らしを支える。

空き店舗に居酒屋 13日にオープン

商店街の活性化を進める帯広電信通り商店街振興組合(長谷涉理事長)と社会福祉法人慧誠会(高木章好理事長)、NPO法人十勝障害者サポートネット(小栗静雄理事長)が運営。道経済産業局の中小商業活力向上補助金を活用して、空き店舗の外観や内部を改装した。

慧誠会が運営する障害者の就労支援施設「帯広ケア」
「べんぞう商店」西側に
オープンする「惣菜ごはん屋でんしん」



来月中旬高齢者向け弁当宅配も

・センター(片平修所長)で生産した豆を中心に、地場野菜を使った料理を提供する。定食は「角煮の大豆添え」などの主菜に、サラダ、副菜とご飯、みそ汁で、500円。店舗は落ち着いた雰囲気でも過ごせるようにと、壁や床を茶色で統一した。パリアフリーを心掛け、車いすのまままでカウンターで食事ができ、盲導犬の入店も可能。

弁当の宅配は隣接する「べんぞう商店」との連携を予定している。長谷理事長は「近隣のお年寄りの安否確認も兼ねて、暮らしやすい地域づくりに貢献できれば」と話している。

営業時間は午後5時〜同10時(日曜、月曜定休)。問い合わせは(0155・24・0816)へ。

(深津慶太)

道経産局
補助活用